

海外での経験を通して...



青年海外協力隊の隊員として、2年間バングラデシュに赴任していた、上村慶さん(間の田)にお話を伺いました。

上村さんは、お父さんから同協力隊の隊員としてサモアに派遣された経験談を聞いているうちに、自分も行ってみたくと思うようになり、大学を卒業後協力隊の一員として活動に参加しました。

上村さんが赴任したのは、バングラデシュの最北端の地域で、ここでの活動は、「リンパ浮腫性フィラリア」という病気の感染予防の活動が中心でした。この病気は、蚊が媒介して感染し、また、感染すると基本的には完治しない病気のため、予防のための錠剤が政府から配布されています。

しかし、現地の人たちは、病気になつてから薬を飲めばいいと

思っているため、なかなか思うように進まないことも多かったようです。そのような状況にあつても辛抱強く活動を続けていくと、感染を確認する検査で、感染している確認結果が出なくなりました。

その後は、患者に対するケアの重要性を訴えるとともに、予防の重要性をアピールして2年間に渡る活動を終えたそうです。

今月の輝ける星

今後は、「協力隊での活動は、みんなで意見を出し合つて取り組んでいた。臨床検査技師の資格を活かし現場で経験を積んで、予防などのアドバイスを自分の判断でやりたい。」という新たな目標ができたようです。

また、協力隊の活動を通して「人と人の距離感が近く、壁のない人間関係が普通に思える」と感じた。この経験を活かして、職場や地域のコミュニティで、活気を与えるような存在になりたい。」とのこと。

上村さんの遠くを見つめるまなざしには、大きな夢と希望が感じられました。

上三川町の学校紹介 ~ 明治小学校(児童数:430名) ~

明治6年5月の開校から今年で140年目を迎え、10月8日には町長・教育長さんのご臨席をいただき、「創立140周年を祝う会」を行いました。明治小学校は「楽しさ 豊かさ 確かさ 遅しさ」を教育目標として、保護者をはじめとした地域との連携を軸に教育活動を展開しています。

地域との連携を図った教育活動

明治コミュニティ推進協議会との連携では、昨年、町の歴史や民俗行事などをまとめた「かみたんカルタ」の製作に参加することができました。学校においても、各学年ごとにカルタ大会を行い、ゲームを通して町の史跡や伝承、ゆかりのある人物、民俗行事などを理解することで郷土愛の育成を図っています。



心を育てる朝のボランティア清掃

明治小の伝統的な活動として「朝のボランティア清掃」があります。登校してから8時5分の朝の放送までの間、自分がきれいにしたいと思う場所を自分の思いに従って自主的に清掃します。高学年になると、ボランティア清掃をすることがあたりまえとなり自然とボランティア清掃を行うようになります。

「自ら進んで」学校をきれいにしていこうとする活動を通して、「みんなのためにつくす奉仕の心」や「学校をよりよいものにしていこうとする愛校心」が育てられ、上級生としての心がまえが培われています。